

こいのぼりなう！

須藤玲子×アドリアン・ガルデル×齋藤精一によるインスタレーションのご案内

2018年4月11日（水）～ 5月28日（月）国立新美術館にて開催



「こいのぼりなう！」展示風景より

2018年4月11日（水）より、NUNOを率いる須藤玲子手がける展覧会「こいのぼりなう！」が国立新美術館にて開催中です。

フランスの展示デザイナー、アドリアン・ガルデルさん、世界的にも評価の高いライゾマティクスの齋藤精一さん、サウンドデザインのsoftpad とのダイナミックなコラボレーションにより、約300匹のこいのぼりが美術館のホワイエから展示室まで泳ぎまわります。須藤玲子とNUNOのメンバーがその手でひとつひとつ創り出した、すべてデザインの異なるオリジナルテキスタイルのこいのぼりたちです。

須藤は80年代よりこいのぼりに興味をもち、NUNOの生地でさまざまなこいのぼりを作ってきました。そして、2008年にはアメリカ・ワシントンDCのジョン・F・ケネディ舞台芸術センターにて、また2014年にはフランス・パリのギメ東洋美術館にて、ガルデルさんとのコラボレーションによるこいのぼりインスタレーションを発表してきました。大きな鯉の形状の布を幟などとともに屋外に立て子どもの成長を祝う日本独自の文化は、NUNOのテキスタイルの魅力とともに、海外では非常に高い関心を持って受けとめられました。3回目のこいのぼり展示となる今回、タイトルの「なう！」には、早30年となるこいのぼり探究を経てたどりついた「こいのぼりの現在形」を見ていただきたいという須藤の気持ちがこめられています。

ガルデルさんはもちろん、齋藤さん、softpadも加わって、斬新な、「今（なう）」バージョンのこいのぼりインスタレーションを創りあげました。展覧会の様子、また、準備や設営風景は、インスタグラムでご覧いただけます。

テキスタイルはカタチを持たず、手段として裏方の役割を自ら任じてきましたが、この機会を得て、テキスタイルの魅力、また須藤玲子とNUNOが携わってきた布づくりの仕事にも注目していただければと願っています。

インスタグラムアカウント

「こいのぼりなう！」公式アカウント

<https://www.instagram.com/koinoborinow/>

「NUNO」公式アカウント

<https://www.instagram.com/nunocorp/>

開催概要

| | |
|--------|--|
| 展覧会名 | こいのぼりなう！ 須藤玲子×アドリアン・ガルデル×齋藤精一によるインスタレーション |
| 会期 | 2018年4月11日（水）－5月28日（月） |
| 休館日 | 毎週火曜日 ※ただし、5月1日（火）は開館 |
| 開館時間 | 10：00－18：00 入場は開館の30分前まで。毎週金・土曜日、4月28日（土）－5月6日（日）は20：00まで 5月26日（土）は「六本木アートナイト2018」開催にともない、22：00まで開館 |
| 会場 | 国立新美術館 企画展示室2E（〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2） http://www.nact.jp |
| 主催 | 国立新美術館 |
| 協賛 | ティアック株式会社、無印良品、荒川技研工業株式会社、サンコロナ小田株式会社 |
| 観覧料 | 無料 |
| お問い合わせ | 03-5777-8600（ハローダイヤル） |
| ハッシュタグ | #こいのぼりなう #koinoborinow https://www.instagram.com/koinoborinow/ |
| アクセス | 東京メトロ千代田線乃木坂駅 青山霊園方面改札 6出口（美術館直結） |

最新情報については、国立新美術館ホームページ（<http://www.nact.jp>）をご覧ください。

作家プロフィール



© Kosuke Tamura

須藤玲子

テキスタイルデザイナー。1953年、茨城県石岡市生まれ。東京都在住。
1984年、テキスタイルメーカー株式会社「布」の設立に加わり、新たな技術を駆使した布づくりを行う。2005年に英国UCA芸術大学から名誉修士号を授与。2006年にマンダリンオリエンタル東京のテキスタイルデザインを手がけ、毎日デザイン賞を受賞。2008年より株式会社良品計画のファブリック企画開発に携わり、2016年より同アドバイザーボードメンバー。その他、企業などのテキスタイル開発についてもデザインアドバイスを行っている。布の豊かな表現性が評価され、ニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館、ボストン美術館、ビクトリア&アルバート美術館、東京国立近代美術館工芸館などに作品が所蔵。国内外で展覧会も多数開催。東京造形大学教授、セントラル・セント・マーチンズ客員教授、株式会社「布」取締役。



アドリアン・ガルデル

展示デザイナー。1972年、パリ生まれ。同地在住。2000年にスタジオ・アドリアン・ガルデルを設立。照明などのプロダクトデザインから世界各国の美術館・博物館の展示デザインまで幅広く手がける。これまでの代表的な仕事として2010年のカイロ・イスラミック美術館の改修や2012年に開館したルーブル美術館ランス別館、2016年に上海・余徳耀美術館（Yuz Museum Shanghai）で開催されたアルベルト・ジャコメッティ回顧展の展示デザインなどを担当。現在進行中のプロジェクトとして、デイヴィッド・チップパーフィールドと協働しているロンドンのロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ、フォスター・アンド・パートナーズとともに設計中のナルボンヌ・中世美術博物館新館がある。



齋藤精一

株式会社ライゾマティクス 代表取締役、ライゾマティクスアーキテクチャー主宰。1975年、神奈川県生まれ、神奈川県在住。コロンビア大学で建築デザインを学び、NYで活動を始める。その後2003年の越後妻有トリエンナーレでアーティストに選ばれたことをきっかけに帰国。2006年にライゾマティクスを設立。以降、建築で培った思考をもとに、アート、コマースの分野でインタラクティブな作品制作を続けている。2014年カンヌ国際広告賞Branded Content and Entertainment部門審査員、2015年ミラノエキスポ日本館シアターコンテンツディレクター、六本木アートナイト2015メディアアートディレクター。また、須藤が取締役を勤める「布」ではHPや映像制作を担当。



softpad

京都を中心に活動するアート／デザインユニット。
1999年結成。インスタレーション、パフォーマンス、サウンド、デザイン分野などジャンルを超えながらそれぞれのメディアの境界線と接点を探る表現活動を行う。
プロダクションメンバー：粟津一郎、上芝智裕、奥村輝康、竹内創、泊博雅、外山央、南琢也。
今回のプロジェクトではサウンドシステムのプログラマーとして真下武久が参加する。
写真は左から、真下武久、粟津一郎、南琢也、外山央。

展覧会の見どころ

1 | 過去最大級のインスタレーション

須藤玲子と、須藤が主宰するテキスタイルメーカー「布」のメンバーがデザインしたこいのぼり約300点を一挙に展示。国立新美術館でもっとも大きい展示室（2000㎡、天井高8m）全面を使い、こいのぼりを空間全体に泳がせます。

2 | 日本初のコラボレーション

須藤とは、これまでワシントンD.C.とパリでもコラボレーションを行ってきた展示デザイナーのアドリアン・ガルデール。本展では、ここにライゾマティクスの齋藤精一も加わり、日本で初めてのコラボレーションが実現します。

3 | 体験コーナー

ワークシートを使い、随時手軽にこいのぼりの制作が楽しめる体験コーナーを会場に併設します（参加は無料です）。また、こいのぼりに使われている布を実際に手に取り、それぞれにつけられているタイトルや産地の情報を知ることができるコーナーも設けます。

4 | トークイベント

須藤と齋藤による展覧会関連トーク、また、日本では初となるガルデーラのレクチャーが実現。会期中には須藤による、こいのぼりのワークショップも予定しています。

5 | 「六本木アートナイト2018」に合わせたスペシャル・プログラムを開催

本インスタレーションにサウンドを提供するsoftpadによるスペシャル・プログラムを5月26日（土）に開催予定です。イベントの詳細は決定次第、国立新美術館ホームページ等でお知らせします。

関連イベント

スペシャル・トーク1 | アドリアン・ガルデール

日時 | 4月11日（水）14:00～15:30（13:30開場） 会場 | 国立新美術館 3階講堂 参加費 | 無料・申込不要
定員 | 260名（先着順） ※英日逐次通訳付き

スペシャル・トーク2 | 須藤玲子+齋藤精一

日時 | 5月13日（日）14:00～15:30 会場 | 国立新美術館 企画展示室2E内 参加費 | 無料・申込不要 定員 | 100名（先着順）

こいのぼりなう！ワークショップ

日時 | 4月29日（日）13:00～16:00 会場 | 国立新美術館 講師 | 須藤玲子 参加費 | 無料・事前申込制
※イベントの詳細は決定次第、国立新美術館ホームページ等でお知らせします。

「こいのぼりつくろう！」ワークショップ

日時 | 5月3日（木）11:00～15:00（最終入場時間 14:00） 会場 | AXISビル（B1Fシンポジア）
参加費 | こいのぼり 1匹につき500円 申し込み方法 | 申し込み不要

アクシスギャラリー+KOINOBORI projectの共催のもと、無地の布製こいのぼり（約25cm×70cm）をベースに参加者が、ペイントまたは「NUNO」のハギレを使い、各々自由にこいのぼりをつくるワークショップ。

※AXISビルにて、須藤玲子のトークイベントも開催予定。日時詳細は決定次第、AXISホームページ、FB等でご確認ください。

※「こいのぼりなう！」と連動し、AXISビルでは、「NUNO」のテキスタイルをモチーフにした、こいのぼりのスペシャルフラッグを掲揚する予定です。

「街中こいのぼり」ワークショップ 2018

日時 | 5月26日（土）14:00～15:30 会場 | 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン（※雨天・荒天の場合はプラザB1F）
講師 | 須藤玲子 参加費 | 無料 申し込み方法 | 当日お申込み、なくなり次第終了。定員 | 20名

「六本木未来会議アイデア実現プロジェクト#11」の一環で、ウェブマガジン六本木未来会議が主催するワークショップ。世界にひとつだけのオリジナルこいのぼりをつくります。できあがった作品をみんなで街中で泳がせて、景色が変わることを一緒に楽しんでみましょう。

作品展示イメージ画像



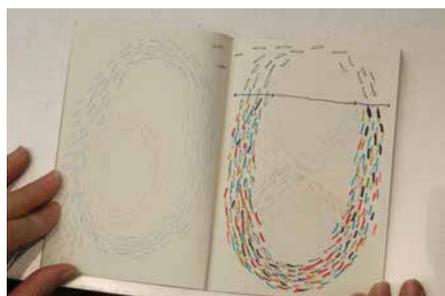
「こいのぼりなう！」展示風景より



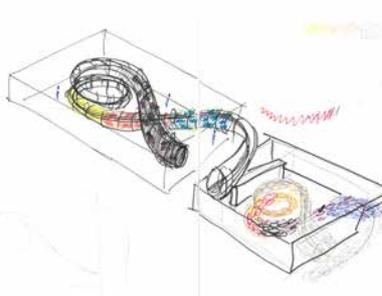
「こいのぼりなう！」展示風景より



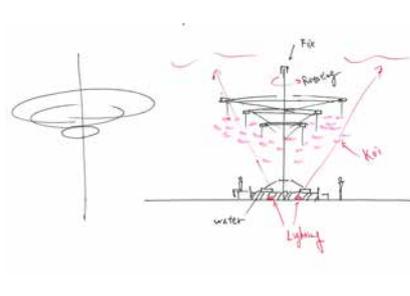
「こいのぼりなう！」展示風景より



須藤玲子《こいのぼりなう！》展示スケッチ
2018年



アドリアン・ガルデル 《こいのぼりなう！》展示スケッチ
2018年



齋藤精一《こいのぼりなう！》展示イメージスケッチ
2018年



須藤玲子とアドリアン・ガルデル



須藤玲子 《Trap Circle》2015年 撮影：Sue McNab



須藤玲子+アドリアン・ガルデル 《Fantasy in Japan Blue》
2017年 ジョン・F・ケネディ舞台芸術センター展示風景



須藤玲子+アドリアン・ガルデル 《こいのぼり》
2014年 フランス国立ギメ東洋美術館展示風景



須藤玲子+アドリアン・ガルデル 《こいのぼり》
2008年 ジョン・F・ケネディ舞台芸術センター展示風景



須藤玲子+齋藤精一 《NUNO : Lost and Found (鶴岡織物工業協同組合)》
(映像スチル) 2016年

NUNOについて

NUNOとは

株式会社「布」は1984年、須藤玲子とともに、テキスタイルデザイナーの草分けの一人、新井淳一（1932- 2017）により設立されました。染めや織りの伝統的技術と最新のテクノロジーを組み合わせ、また天然のみならず新しい素材を駆使し、他にはないテキスタイルを生み出してきました。既存の織機に工夫を加え、糸を探し、経糸・緯糸による新しいストラクチャーを考え、斬新な構図、色使いを創り出し、これまでにないテキスタイルを作っています。

「布」の仕事は日本のファッションデザイナーが世界的な舞台上で躍り出るときのテキスタイルを、また、建築家たちがかつてない柔らかで縦横無尽な空間のつくりだすための素材となる布を提供してきました。「布」がこれまでに制作したテキスタイルは世界各国の美術館に永久収蔵されており、また数々の展覧会も開催されてきています。また2002年からは「NUNO WORKS」として、織りだけでなく、型染め、シルクスクリンなど、捺染プリント技術も加えた布作りを展開しています。

さらに、須藤玲子とNUNOは日本各地の産地を丁寧に巡り、独自の染織技術を調べて生かし、現代人の感覚に沿うデザインを注入することで、その豊かな遺産を未来に継承していく活動もおこなっています。

NUNOでは、須藤はじめ、メンバー全員がデザイン、生産管理、ショップでの販売のほぼすべての作業を担当します。こうした作業を通じて、布作りの伝統的な技術と現代のテクノロジーへの理解を深め、同時に、テキスタイルを使う方々と交流しながら、「現代の布」づくりを行っています。

CONCEPT（NUNOホームページより）

NUNOがつくるテキスタイルは、「ことば」を越えた「ことば」と考えています。

人の皮膚に直接触れるテキスタイルは、皮膚を通して直接人の五感に働きかけ、豊かな情報を人に伝えます。

「今という時代の息吹き」、「時を経た伝統の薫り」、「新しい感性のぬくもり」、「未来を感じる肌触り」などなど。

言い尽くせない豊かな情報が、テキスタイルを通して直接人に伝わります。

私たちは、テキスタイルを「ことば」を越えた「ことば」と促え、テキスタイルを通して、テキスタイルと人、人と人との交流をより豊かに築いてゆきたいと考えています。

NUNOのこれまでの展示・インスタレーション、テキスタイル作品より



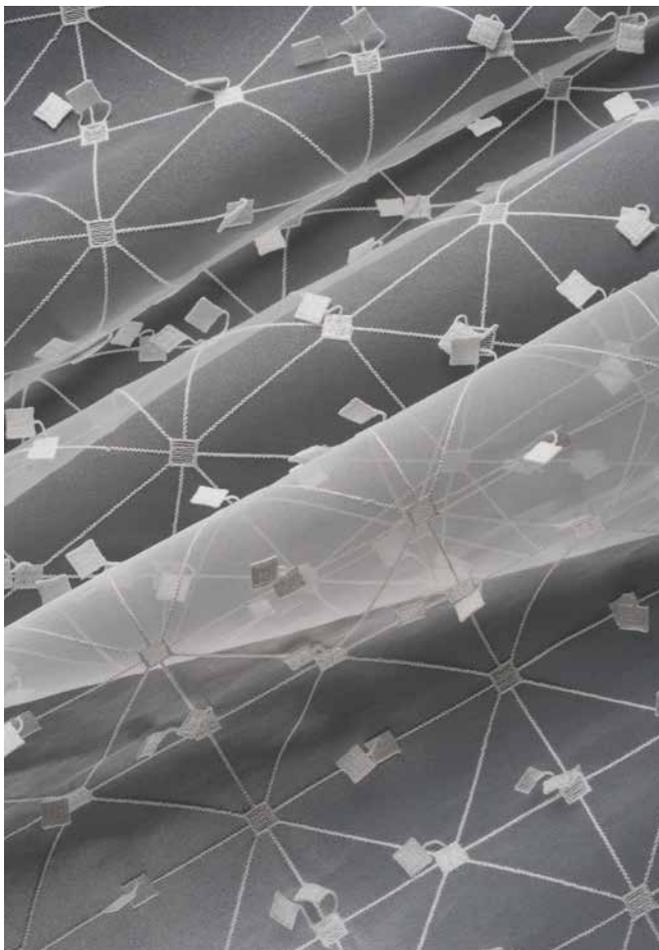
展覧会<現代のプロダクトデザイナー—Made in Japanを生む>
2013年東京国立近代美術館



大分県立美術館恒久展示 作品<ユーラシアの庭「水分峠の水草」>
2015年より



<Do You Nuno? 須藤玲子とNunoの世界> 展示風景
2013年松屋銀座デザインギャラリー1953



テキスタイル作品「すけすけ・スイング四角」

NUNO HISTORY

布およびNUNOのあゆみ

- 1984 株式会社 布 設立/東京
NUNO 六本木アクシスビル本店オープン/東京
- 1990 NUNOショールーム ニューヨークデザインセンターオープン (のち、2002年、サンディエゴに移転)
- 1994 布研究所 設立/桐生
- 1997 Nuno Nuno Booksシリーズ発行 (第一巻 BORO BORO~)
- 1998 NUNOショールーム ベルンSain AGオープン/ベルン
- 2002 NUNO WORKS 南青山店オープン (のち、松屋銀座店に移転) /東京
- 2002 Material Things サンディエゴ布ショールームオープン/サンディエゴ

受賞歴

- 1995 ロスコアワード受賞 (羽オーガンジー)
- 1999 JID賞 部門賞受賞 日本インテリアデザイナー協会 (Nuno Nuno Books)
- 2007 毎日デザイン賞受賞 毎日新聞社 (マンダリンオリエンタル東京におけるテキスタイルデザイン)

カンファレンス 他

- 1997 Material Culture カンファレンス基調講演 カンザス州立大学/カンサスシティ
- 2002 Convergence 2002・カンファレンス バンクーバー・コンベンション・センター/バンクーバー
- 2011 第16回 ETNカンファレンス2011 “Rewind-Play-Forward” /カウナス
「Light and Architecture」シンポジウム コリング・デザイン大学/コリング
- 2013 「Material Innovations」シンポジウム&ワークショップ シカゴ美術館附属美術大学/シカゴ
- 2013 「Material Innovations」シンポジウム&ワークショップ シカゴ美術館附属美術大学/シカゴ
AglIdeas International Design Conference 2013/メルボルン

個展実績より抜粋

- 2001 「布・技と術 NUNO-Sense and Skill」京都芸術センター (京都、日本) 他巡回
- 2005 「2121テキスタイルヴィジョン - 須藤玲子とNUNO」
ジェイムズ・ホッキーギャラリー&フォアイエ (ファーナム、イギリス) 他巡回
- 2008 「Japan! Culture + Hyperculture」ジョン・F・ケネディ舞台芸術センター (ワシントンD.C.、アメリカ)
- 2012 「NUNO日本のテキスタイル: ゾクゾク」ルーシン・クラフトセンター (ウエールズ、イギリス) 他巡回
- 2014 「Reiko Sudo+NUNO: 日本からのテキスタイル」
ミシシッピ・ヴァレー・テキスタイルミュージアム (オンタリオ、カナダ)
「Koi Current」フランス国立ギメ東洋美術館 (パリ、フランス)
- 2017 「Fantasy in Japan Blue」Hall of States, ジョン・F・ケネディ舞台芸術センター (ワシントンD.C.、アメリカ)

本件に関するお問い合わせ先

NUNO PR SUPPORT | HOW INC.

E-MAIL pressrelease@how-pr.co.jp

TEL 03-5414-6405